にっせい農事にゅーす

（第４７９回）　日星ｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝ株式会社

アグロ部（054-263-2860）

10月は気温が平年値を上回る日が続き、下旬になっても平均気温は20℃を下回らず、秋らしい日は少なかったように思われます。一方、月の前半は降雨日は少なく、９月の長雨で遅れていた各種農作業は捗ったのではないか思われますが、後半は台風30号等の影響もあり、また降雨が続き再び農作業は遅れ気味になってしまったのではないでしょうか。

例年８月から９月にかけて台風が日本にやってきますが、今年も９月中旬に台風25号が本県に接近し、伊豆地域を中心に冠水等の被害が発生しました。その後も10月上旬にかけて台風26、27、28号と本県に接近しましたが、大きな被害はありませんでした。

名古屋地方気象台が10月29日に発表した１か月予報によると、11月は平年に比べ晴れの日が少なく日照時間も少ない予想です。また平均気温は高く、降水量は平年より多い予想です。レタス、キャベツ、シロネギ、タマネギ、ダイコンなど露地作物では、雨が多いとべと病、疫病等のカビによる病害や腐敗病、黒腐病等の細菌による病害の発生が心配されます。予防的な防除を心掛けてください。

病害虫防除所の11月予報では、**温州みかん**でミカンハダニ（西部地域）が多、**だいこん**で黒斑細菌病がやや多、**キャベツ**で黒腐病がやや多、**ねぎ（白ねぎ）**でシロイチモジヨトウ、ネギアザミウマ、が多、黒斑病・葉枯病がやや多、**いちご**でアザミウマ類、ハダニ類、コナジラミ類（中部地域）が多、ハスモンヨトウがやや多、**作物全般**でオオタバコガがやや多、の予想となっています。

令和８年10月20日

気象予報‘26-11　　## 東海地方３か月気象予報　　名古屋地方気象台発表

11月：平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。気温は高い確率60%、降水量は多い確率50%です。
12月：平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。気温は高い確率50%、降水量は多い確率50%です。
１月：平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。気温は高い確率50%、降水量は多い確率50%です。

● 向こう３か月の気温、降水量の各階級の確率（%）

予報の区分	気温			降水量		
	低い	平年並	高い	少ない	平年並	多い
３か月	10%	30%	60%	20%	30%	50%
11月	10%	30%	60%	20%	30%	50%
12月	20%	30%	50%	20%	30%	50%
１月	20%	30%	50%	20%	30%	50%

News 2026-11-2

病害虫発生予察情報(11月予報)

令和 8年 10月 29日
静岡県病害虫防除所長

1 予報概況

作物名	病害虫名	予 報 (11月の県平均平年値)	予 報 の 根 拠
温州 みかん	ミカンハダニ	発生量:並 ただし、西部:多 (寄生葉率 2.3%)	10月上中旬発生量:並 (±) ただし、西部で多 (+) 気象予報:気 温:高い (+) 降水量:多い (−)
トマト	葉かび病・ すすかび病	発生量:並 (発病株率10.3%)	10月中下旬発生量:少 (−) 気象予報:気 温:高い (+) 降水量:多い (+)
	黄化葉巻病	発生量:並 (発病株率1.4%)	10月中下旬発生量:少 (−) 気象予報:気 温:高い (+)
	コナジラミ類	発生量:並 (寄生株率15.2%)	10月中下旬発生量:少 (−) 気象予報:気 温:高い (+)
だいこん	黒斑細菌病	発生量:やや多 (発病株率0.4%)	10月中旬発生量:並(発生なし)(±) 気象予報:気 温:高い (+) 降水量:多い (+)
	白さび病	発生量:並 (発病株率0.1%)	10月中旬発生量:やや多 (+) 気象予報:気 温:高い (−) 降水量:多い (+)
	モザイク病 (アブラムシ類)	モザイク病発生量:並 (発病株率0.4%) アブラムシ類発生量: 少 (寄生株率0.6%)	10月中旬発生量 モザイク病:並(発生なし) (±) アブラムシ類:少(発生なし) (−) 気象予報:気 温:高い (+) 降水量:多い (−)
	コナガ	発生量:やや少 (寄生株率0.1%)	10月中旬発生量:少(発生なし)(−) ﾌｪﾛﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟ誘殺数:少 (−) 気象予報:気 温:高い (+) 降水量:多い (−)
	ナモグリバエ	発生量:やや少 (寄生株率1.6%)	10月中旬発生量:少(発生なし)(−) 気象予報:気 温:高い (+) 降水量:多い (−)
キャベツ	黒腐病	発生量:やや多 (発病株率0.9%)	10月中旬発生量:少(発生なし)(−) 気象予報:気 温:高い (+) 降水量:多い (+)
	菌核病	発生量:並 (発病株率0.2%)	10月中旬発生量:少(発生なし)(−) 気象予報:気 温:高い (±) 降水量:多い (+)
	コナガ	発生量:やや少 (寄生株率0.1%)	10月中旬発生量:少(発生なし) (−) 気象予報:気 温:高い (+) 降水量:多い (−)
	ハスモンヨトウ	発生量:並 (寄生株率0.1%)	10月中旬発生量:少(発生なし) (−) ﾌｪﾛﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟ誘殺数:やや多～多 (+) 病害虫防除員からの報告:多 (+) 気象予報:気 温:高い (+) 降水量:多い (−)
	シロイチモジヨトウ	発生量:やや少 (寄生株率0.1%)	10月中旬発生量:少 (−) 気象予報:気 温:高い (+) 降水量:多い (−)
	アブラムシ類	発生量:やや少 (寄生株率0.7%)	10月中旬発生量:少(発生なし)(−) 気象予報:気 温:高い (+) 降水量:多い (−)

作物名	病害虫名	予　報 （11月の県平均平年値）	予　報　の　根　拠
ねぎ （白ねぎ）	さび病	発生量：並 （発病株率0.3%）	10月中旬発生量：少（発生なし）（－） 気象予報：気　温：高い　（±） 降水量：多い　（＋）
	黒斑病・葉枯病	発生量：やや多 （発病株率3.4%）	10月中旬発生量：やや少　（－） ネギアザミウマ発生量：多　（＋） 気象予報：気　温：高い　（±） 降水量：多い　（＋）
	シロイチモジヨトウ	発生量：多 （寄生株率0.4%）	10月中旬発生量：多　（＋） ﾌｪﾛﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟ誘殺数：並　（±） 気象予報：気　温：高い　（＋） 降水量：多い　（－）
	ネギアザミウマ	発生量：多 （寄生株率10.0%）	10月中旬発生量：多　（＋） 気象予報：気　温：高い　（＋） 降水量：多い　（－）
	ネギハモグリバエ	発生量：やや少 （被害株率25.3%）	10月中旬発生量：少　（－） 気象予報：気　温：高い　（＋） 降水量：多い　（－）
レタス （非結球レタスを除く）	斑点細菌病	発生量：並 （発病株率0.1%）	10月中旬発生量：並（発生なし）（±） 気象予報：気　温：高い　（－） 降水量：多い　（＋）
	べと病	発生量：並 （発病株率0.2%）	10月中旬発生量：並（発生なし）（±） 気象予報：気　温：高い　（－） 降水量：多い　（＋）
	ハスモンヨトウ	発生量：並 （寄生株率0.2%）	10月中旬発生量：少（発生なし）（－） ﾌｪﾛﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟ誘殺数：やや多～多（＋） 気象予報：気　温：高い　（＋） 降水量：多い　（－）
いちご	うどんこ病	発生量：やや少 （発病株率1.1%）	10月中下旬発生量：少　（－） 気象予報：気　温：高い　（＋）
	炭疽病	発生量：やや少 （発病株率1.5%）	10月中下旬発生量：少　（－） 気象予報：気　温：高い　（＋）
	アザミウマ類	発生量：多 （寄生株率　2.1%）	10月中下旬発生量：やや多　（＋） ただし、中部で多　（＋） 気象予報：気　温：高い　（＋）
	アブラムシ類	発生量：やや少 （寄生株率　4.9%）	10月中下旬発生量：少　（－） 気象予報：気　温：高い　（＋）
	コナジラミ類	発生量：並 ただし、中部：多 （寄生株率　6.1%）	10月中下旬発生量：やや少　（－） ただし、中部で多　（＋） 気象予報：気　温：高い　（＋）
	ハダニ類	発生量：多 （寄生株率　14.9%）	10月中下旬発生量：やや多　（＋） ただし、中部で多　（＋） 気象予報：気　温：高い　（＋）
	ハスモンヨトウ	発生量：やや多 （寄生株率0.4%）	10月中下旬発生量：並　（±） ﾌｪﾛﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟ誘殺数：やや多～多　（＋） 気象予報：気　温：高い　（＋）
作物全般	オオタバコガ	発生量：やや多	ﾌｪﾛﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟ誘殺数：並～やや多（±～＋） 気象予報：気　温：高い　（＋） 降水量：多い　（－）

News 2026-11-4

―冬野菜の病害防除―

11 月に入ってもまだ日中の気温が高い日がありますが、季節は冬に向かっており朝夕の気温はだいぶ下がってきました。害虫は気温の低下に伴い発生は少なくなりますが、病害は気温が低下してくると発生が見られるものもあります。ここでは、気温が下がる 11 月から 12 月に発生しやすい病害を紹介します。

【１】レタス

・腐敗病

細菌による病害で、菌は 3 種類あり、症状は 2 つに分かれる。１つは、下葉から数枚上の葉の中肋に暗褐色不整形で光沢のある病斑ができ、拡大して葉が腐敗する。もう 1 つは初め外葉の下葉縁や中肋から褐変して水浸状の病斑を形成し、葉脈が褐変して急速に拡大する。平坦地の冬から春どりのトンネル栽培に発生する。凍霜害を受けることの多い冬作で多発する。

⇒発生圃場では、発生初期にカッパーシン水和剤、スターナ水和剤、バリダシン液剤 5 を散布する。またキノンドーフロアブル（有機銅水和剤）、Ｚボルドー（無機銅水和剤）などを予防散布する。



腐敗病

・灰色かび病

外葉の地面と接する部分の葉柄あるいは葉身に水浸状の病斑が現れ、多湿条件では速やかに拡大して褐変、腐敗する。凍霜害などの損傷を受けると、結球葉の上部からでも発生する。

⇒発病を認めたら、早めに薬剤散布し、蔓延しないようにする。防除薬剤として、メジャーフロアブル、アフェットフロアブル、アミスター20 フロアブル、パレード 20 フロアブル、ゲッター水和剤などがある。



灰色かび病

【２】キャベツ

・黒腐病

細菌による病気で、幼苗期から収穫期まで発生する。はじめ葉縁部が水浸状に変色して、のちに拡大して黄褐色の V 字型病斑を形成し、その周辺の葉脈は黒変化する。本圃では主に下葉から発生する。病原細菌が雨滴とともに葉に付着し、水孔や傷口から侵入する。強風雨などで傷が付いたら、速やかに薬剤を散布する。

⇒防除薬剤には、カッパーシン水和剤、キノンドーフロアブル、バリダシン液剤 5 などがある。



黒腐病

・べと病

糸状菌による病害で育苗期から結球期まで発生する。外葉や下葉、まれに結球葉に淡黄褐色～黒褐色、不整形または葉脈で区切られた多角形の病斑が生じる。病斑部には、汚白色で霜状のかびが生える。10～15℃くらいの比較的低温で降雨が続くと発生しやすい。肥料が切れると発病が激しくなる。

⇒結球初期まで予防的な薬剤防除を行う。ジマンダイセン水和剤、ダコニール 1000、シグナム WDG、フォリオゴールド、ランマンフロアブル、リドミルゴールド MZ、レーバスフロアブルなどがある。



べと病

【３】ダイコン

・白さび病

はじめ、葉裏に乳白色の小斑点が生じ、葉表では黄色い斑紋となる。収穫期近くでは、根部表面に黒色のリング状の斑紋(わっか症)を生じることがある。12 月から 1 月にかけて発生が増加する。

白さび病は発病初期に薬剤防除を行う。わっか症の防除は、潜伏期間(20 日程度)を考慮して予防的に行う。

⇒アミスター20 フロアブル、ライメイフロアブル、ランマンフロアブル、ダコニール 1000、カッパーシン水和剤（わっか症のみ）など。



白さび病

・べと病

はじめ葉に輪郭が不鮮明な黄緑色の斑紋が生じる。斑紋は次第に拡大して多角形の紫黒色病斑となる。平均気温が 10 度以下で降雨が続くと発病が多い。発生初期から薬剤散布を行う。

⇒クプロシールド、Z ボルドー、ボルドーなど。



べと病

【４】シロネギ

・黒腐菌核病

葉先から灰白色に枯れこみ、地際の葉鞘部は腐敗し、表面にごま粒状の黒い菌核が生じる。酸性圃場で発病しやすいので、石灰質肥料で土壌 pH を矯正する。

⇒定植前に土壌消毒をするとともに次の薬剤を処理する。セイビアーフロアブル 20、パレード 20 フロアブル、モンガリット粒剤、アフェットフロアブル、カナメフロアブルなど。



黒腐菌核病

【５】 タマネギ

・腐敗病

細菌による病害で 12 月頃から発病が見られ、２～３月に多くなる。最初葉身で斑点、条斑が発生し、その後上下に伸展する。葉鞘、葉鞘基部、麟茎に発病すると、軟化腐敗症状を示す。

⇒発病のおそれのある圃場では、2 月頃から予防散布をするとともに、強風雨の後に薬剤散布をする。

薬剤はバリダシン液剤５



腐敗病

・白色疫病

晩秋から春にかけて発生し、低温多雨なときに発生が多い。はじめ葉に青白色、油浸状の小さな斑点を生じ、その後病斑部は白く枯れて下垂したりよじれたりする。

⇒発病初期の防除に重点を置き、７～10 日おきに薬剤を散布する。

ホライズンドライフロアブル、リドミルゴールド MZ、フロンサイド SC など。



白色疫病

News 2026-11-6

今月の防除（令和8年11月）

作物	時期	病害虫	使用薬剤	使用法	時期･回数	備　考
チャ	上～下（越冬前）	カンザワハダニ	ハーベストオイル	100倍	＊＊	＊＊：発芽前又は摘採直後
			又はスプレーオイル	100倍	10月-3月	
		クワシロカイガラムシ（雄繭の多発園に限定）	ハーベストオイル	50～100倍	10月-3月	発生枝幹に薬液を十分に散布する(1000ℓ/10a)。
			又はスプレーオイル	50～100倍	10月-3月	
		チャトゲコナジラミ	ハーベストオイル	50～100倍	10月-3月	ハダニとの同時防除が可。
			又はスプレーオイル	50倍	10月-3月	
温州みかん	下	貯蔵病害（青かび･緑かび等）	ベンレート水和剤と	4,000倍	前日-4	11月下旬～12月上旬に貯蔵予措を1～2週間行う。
			ベルクートﾌﾛｱﾌﾞﾙの混用	1,000倍	前日-3	
中晩柑	上	ミカンハダニ（ハダニ発生園）	スターマイトフロアブル	2,000倍	7日-1	
いちご	上～下	角斑細菌病	コサイド3000	1,000倍	ー－－	
		うどんこ病	ストロビーフロアブル又は	3,000倍	前日-3	硫黄粒剤（くん煙剤）も可。
			クロスアウトフロアブル	3,000倍	前日-3	
		灰色かび病	パレード20フロアブル	2,000倍	前日-3	スミレックスくん煙顆粒（前日-3）も可。スターマイトとモベント、マッチは散布1日後からミツバチの導入が可能。
		ハダニ類	スターマイトフロアブル	2,000倍	前日-2	
		アブラムシ類	モベントフロアブル	2,000倍	前日-3	
		ミカンキイロアザミウマ	マッチ乳剤	1,000倍	前日-4	
レタス	上～下	軟腐病、腐敗病および斑点細菌病	キノンドーフロアブル	800倍	21日-5	ナレート水和剤1000倍(21-2)も可。
		灰色かび病	ゲッター水和剤	1,500倍	7日-2	カンタスドライフロアブル1000倍(7-2)も可。
		ネキリムシ類	アクセルペイト	6kg/10a	前日-3	
		アブラムシ類	アドマイヤーフロアブル	4,000倍	3日-2	ドローン散布も可能（40倍）
		ハモグリバエ類（ナモグリバエ）	プレバソンフロアブル5	2,000倍	前日-3	プレバソンはハスモンヨトウ、オオタバコガにも効果あり。ドローン散布も可能（20倍）
			またはダントツ水溶剤	2,000倍	前日-2	
トマト	上～下	灰色かび病	カンタスドライフロアブル	1,000倍	前日-3	ロブラール水和剤1000倍（前日-3）も可。
			アミスター20フロアブル	2,000倍	前日-4	
		葉かび病	ダコニール1000	1,000倍	前日-4	ゲッター水和剤1000倍（前日-5）も可。
			アフェットフロアブル	2,000倍	前日-3	
		疫病	ホライズンドライフロアブル	1,500倍	前日-3	ランマンフロアブル1000倍（前日－4）も可。
		コナジラミ類	ベストガード粒剤	1～2g/株	定植時-1	ダントツ粒剤も可。
			チェス顆粒水和剤	5,000倍	前日-3	アルバリン顆粒水溶剤2000倍（前日-2）も可。
			又はアニキ乳剤	1,000倍	前日-3	
		ハモグリバエ類	アルバリン粒剤	1～2g/株	育苗期-1	ダントツ粒剤も可。
			ディアナSC	2,500倍	前日-2	
			プレオフロアブル	1,000倍	前日-2	
ねぎ	上～下	さび病	アミスター20フロアブル	2,000倍	3日-4	ストロビーフロアブル2000倍(7-3)も可。
		黒斑病	ダコニール1000	1,000倍	14日-3	ロブラール水和剤1000倍（14-3）も可。
		シロイチモジヨトウ	プレオフロアブル	1,000倍	3日-4	プレバソンフロアブル5　2000倍(3-3)も可。
		ネギハモグリバエ	ディアナSC	2,500倍	前日-2	シロイチモジヨトウ、ネギアザミウマにも有効。
		ネギアザミウマ	コルト顆粒水和剤	2,000倍	3日-3	プレオフロアブル1000倍（3-4）も可。

＊使用前には、ラベルをよく読み、登録内容に沿って使用してください。